

セカンドステップ通信

Vol.7

第3章 怒りの扱い

レッスン4 独り言

レッスン5 ケンカを避ける

レッスン6 悪口を言われたり、からかわれたとき

いよいよセカンドステップのレッスンも最終段階に入ってきました。怒りの扱いのまとめに入っていきます。

レッスン4では、肯定的な「独り言」について学びます。これまでも「落ち着くステップ」で学んだ、自分に「落ち着いて」と言い聞かせることが「独り言」の一例であることを示します。怒っている時だけでなく、緊張した時などに落ち着いて集中するための「独り言」を学びます。さらに前向きな「独り言」と後ろ向きな「独り言」の違いを意識するように促します。

何人かの子供は、攻撃以外に問題解決の方法をほとんど知りません。

レッスン5では、暴力に訴えて問題解決をしようとする以外に、平和的な解決方法があることを学びます。セカンドステップでは怒る気持ちを持つことは否定しません。怒ったときにどのような行動をとるかが大切であり、暴力以外の適切な自己主張をする方法を学びます。ケンカをしないためのステップの一例として、1. 落ち着く、2. ケンカになったらどうなるかを考える、3. 何をしたいのかを相手に話す、4. 提案するを学びます。今回のDVDの例では、子供が友達のボールを取ってしまうことでケンカになりそうな場面で、取られた子供が落ち着くことにより二人で出来るボール遊びをすることを提案する様子が描かれています。

レッスン6では「悪口」や「からかい」の対処法として、その言葉に反応せずに、自分の気持ちを相手に話し、問題解決が難しい場合には、大人の支援や介入を必要とすることを学びます（以前のレッスンで挙げたように信頼出来る大人に相談することなど）。相手がいやがっているのに絶えずからかうのはいじめです。セカンドステップでは子供が自分の力で問題を解決することを重要視しますが、いじめを扱うときには、子供は支援や介入を必要とします。普段より学校が取り組んでいるように、いじめがあった場合に、子供がそのことを大人に相談することにより問題が解決できるんだと安心出来るような環境を皆さんの力で作り上げることが大切だと考えます。

皆様のご協力により子供達も2年間に渡るレッスンを終えようとしています。

子供達がセカンドステップのスキルを使うことにより、人間関係がより円滑なものとなり、社会に出てからもうまくやっていけることを願っています。

子供達に自立した大人になってもらうために我々が出来ることは何なのか。その答えのひとつがこの「セカンドステップ」でした。他にも色々なアプローチがあり、実際様々な団体、個人が将来の日本を背負う子供たちのために活動しています。私も今後も子供たちのために微力ながらお手伝いをさせていただければと思います。至らない点も多いとは思いますが、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

セカンドステップを効果的にするには、ご家庭での援助が大切な役割を果たします。こどもが学校で何を学んでいるか？新しいスキルを理解し練習するために家でどのように援助できるか？について手紙をお届けします。セカンドステップのレッスンをどうぞご自由にご覧になってください。セカンドステップに関するご質問やご意見があれば、ご遠慮なくお寄せ下さい。